資料４－２

病床数適正化事業による病床削減について

構想区域名：山口・防府保健医療圏　　対象医療機関名：村田外科胃腸科

１　地域の状況			
地域の現状と課題		山口・防府医療圏について、地域利用構想の必要病床と令和7年度病床機能報告を比較すると、高度急性期が224床、急性期が189床過剰である一方で、回復期が180床、慢性期が22床不足という状況である。人口減少・高齢化に伴う中長期的な患者像の変化に対応するため、地域全体として回復期機能の強化が課題となっている。	
２　自施設の状況			
自施設の現状 （変更前）		当院は急性期病床を4床保有しているが、看護師の不足や医療需給の問題で休床中である。	
病床数削減について	削減の内容 削減の理由について	今後も需要が見込めないため、病床を減らす。	
	対象の病棟・病床の概要	削減する病床は、この15年間は休床である。	
	新興感染症に係る協定締結医療機関の確保病床について	新興感染症に係る協定の締結の有無について	協定あり　・　協定なし（○）
		今回の削減が当該協定の確保病床に与える影響について	削減する病床は、当該確保病床ではないので、当該協定への影響はない
３　病床削減をしても入院医療の継続に支障がない理由			
理由		従前より休床中の病床を削減するにすぎないため、支障はきたさないと考える。	

【参考】対象区分別の削減（計画）病床数

対象区分	R6	削減時期	R7	削減時期	R8	削減時期	計
高度急性期							
急　性　期					4	2027/3/31	4
回　復　期							
慢　性　期							
合　　計					4		4

【参考：R7病床機能報告（山口保健医療圏の状況）】

病　床　区　分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・廃止予定		合計
報告	①R7（2025）現状	499	1,163	719	838	66		3,285
	②R8（2026）予定	496	1,091	776	820			3,183
構想	③R7（2025）必要数	275	974	899	860			3,008
④構想との差(R7)（①-③）		224	189	△ 180	△ 22	66		277
⑤構想との差(R8)（②-③）		221	117	△ 123	△ 40			175

対応方針（2025プラン）の変更(村田外科胃腸科)

<table>
<tr><td colspan="3">病床機能報告における
病床数（7月1日時点）</td><td colspan="5">対応方針（2025プラン）の内容</td><td rowspan="2">備考
（対応方針の実施予定時期等）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能
区分</td><td rowspan="2">R7
現在</td><td rowspan="2">R8
予定</td><td rowspan="2">病院の特徴・役割</td><td rowspan="2">今後の方針</td><td colspan="3">機能別病床数（2025）</td></tr>
<tr><td>機能
区分</td><td>現行</td><td>変更後</td></tr>
<tr><td>高　度
急性期</td><td></td><td></td><td rowspan="6">急性期機能を担う</td><td rowspan="6">将来的な医療需要を見据えて、病床数を削減す。</td><td>高　度
急性期</td><td></td><td></td><td rowspan="6">令和9年3月実施予定</td></tr>
<tr><td>急性期</td><td>4</td><td>4</td><td>急性期</td><td>4</td><td><u>0</u></td></tr>
<tr><td>回復期</td><td></td><td></td><td>回復期</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>慢性期</td><td></td><td></td><td>慢性期</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>休　棟</td><td></td><td></td><td>休　棟</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合　計</td><td>4</td><td>4</td><td>合　計</td><td>4</td><td><u>0</u></td></tr>
</table>